

好生館だより

vol. **37**
2018.1

KOSEIKAN DAYORI

2018

[メッセージ]

理事長のあいさつ、館長から一言

p1

[好生館ニュース]

全国がん(成人病)センター協議会
施設長会 他

p2

[診療科の紹介]

小児科、小児外科、耳鼻いんこう科、
麻酔科

p3

看護部だより

p4

栄養の豆知識、

知っていますか? 検査の話

p5

感染制御部だより、医療安全管理部だより、
医療支援部だより

p6

開放型病床登録医のご紹介、
佐賀県診療情報地域連携システム
「ピカピカリンク」のご紹介

p7

患者・家族総合支援センターだより

p8

新任医師の紹介、県民公開講座、
がん県民公開講座

p9

歴史コーナー、
鍋島直正公記念好生館シンポジウム開催

p10

外来医師一覧表

p11

謹賀新年



緩和ケア病棟でのドッグセラピー

※好生館のセラピードッグは
病院の許可を得て入館しています



地方独立行政法人

佐賀県医療センター **好生館**

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN

SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390

<http://www.koseikan.jp/>



理事長のあいさつ

理事長 中川原 章

戌年を迎えて～勤勉と努力の年～

新年おめでとうございます。

今年は「戌」の年、戌の干支の特徴は「勤勉で努力家」と言われています。昨年の「酉」はチャレンジでしたが、今年は一転、着実に物事を積み上げ、実績を積んでいく年となります。

地域の県民および医療機関の皆様には、昨年同様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。平成30年度は、医療と介護の一体改革が、いよいよ診療報酬と介護報酬の同時改訂という形で実施されます。今後益々、きめ

細かな病・病連携、病・診連携が必要となり、しっかりと足元を見据えて、地域医療を支えていくことが大切と心しています。

一方、本年は「明治維新150年」を祝って、佐賀県でいろいろなイベントが計画されていますが、好生館では、いち早く、約3年をかけて編集した「好生館180年記念誌」を昨年10月に発行し、12月2日には、「第2回鍋島直正公記念好生館シンポジウム」を開催することができました。わが国で最も古い西洋医学を導入した病院という歴史に溺れる事なく、超少子高齢化時代という未曾有の試練の中で、新しい地域医療のあり方を求めて、職員が一丸となり、日々努力していきたいと思えます。

ところで、昨年4月に労働基準監督署の是正勧告を受け、以後、佐賀県医療センター好生館の働き方改革を進めてきましたが、本年はその改革全体を最終的な形にし、PDCAサイクルを回すことが、好生館にとって極めて重要な課題です。

また、平成30年4月から、いよいよ第3期中期計画（4年間）が始まります。

本年もご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

館長から一言 館長 兒玉 謙次

新年おめでとうございます。
本年もよろしくお願い致します。

わが国では働き方改革について議論されていますが、好生館でも本年度の病院運営の基本方針の一つである職場環境の改善を行ってまいりましたので、その一端を紹介させていただきます。

まず、時間外業務の縮減を図りました。日常の診療以外の業務、例えば会議やカンファレンス等を原則として勤務時間内に行うようにしました。そのことにより職員全員がライフワークバランスのとれた生活を維持できることを目標にしています。従来の業務スケジュールを変えたくない部署あるいは個人に対しては、勤務時間のシフト制を敷くことにより対応しました。

また、再来患者が多いことに加え、紹介状のない患者さんや紹介状があっても予約のない、言わば飛び込みの患者さんにより外来診療のスケジュールが乱れ、スタッフの業務負担増になっています。これに対応すべく、今後は地域医療連携の更なる推進と完全予約制の実施に注力致します。

この様な環境改善を通して、好生館の高度急性期および急性期病院としての入院診療に重きをおいた診療体制の強化と紹介患者中心の外来診療の推進を図りたいと考えております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い致します。



全国がん(成人病)センター協議会施設長会を開催しました

副事務部長 小野 潔



11月2日(木)にホテルニューオータニ佐賀において、全国がん(成人病)センター協議会施設長会を開催しました。会議には、全国から28施設の施設長に御出席をいただきました。

開会后、中川原理事長、中釜会長、池田佐賀県副知事の挨拶があり、協議会の進むべき方向性を中心に熱心な議論や情報交換が行われました。最後に、佐賀大学特命教授の青木先生から「江戸時代の外科学と好生館」と題して、外科学の発展を歴史の流れと一緒に説明があり、佐賀藩や好生館が果たした偉大な歴史的役割等について講演をいただき、たいへん充実した会議となりました。



会議終了後に懇談会が開催され、次期開催の愛知県がんセンター 丹羽院長の挨拶で盛会の内に終了しました。

嘉瀬町有重老人クラブ文化講演会を開催しました

総務課 庶務係
係長 延岡 史朗



11月15日(水)、好生館が所在する嘉瀬町有重地区の老人クラブの方々を対象に文化講演会を開催しました。この講演会は日頃よりお世話になっている地域の皆様方の健康増進のお役に立ちたいという趣旨で平成28年1月より企画しました。

5回目の開催となる今回は、消化器外科 田中部長が「大腸癌」について講演を致しました。参加された方々は熱心に聞き入り、「大腸癌の説明に、図や写真等を用いられわかりやすかった」と感想を述べられていました。講演後は活発な質問が飛び交い、皆さんの関心の高さを感じました。



病理解剖体慰霊式が開催されました

総務課 庶務係
主事 菊池 智美



病理解剖にご協力いただいた方々を対象にした慰霊式を12月13日(水)に行いました。病理解剖は、病気の原因のほか、死亡にいたった原因を究明し、今後の医療の発展につなげていくものです。当館では、毎年、病理解剖にご協力していただいた方に対して心からの敬意と感謝の意を表し、慰霊式を行っています。

ご親族も一緒に参列され今年度は22名の御霊を慰霊致しました。



好生館 News

小児病棟クリスマス会を開催しました

5階西・南病棟
看護師長 金原 直美



12月21日(木)小児病棟クリスマス会を開催しました。催し物は看護師、病棟保育士によるハンドベル、徳久 望さんの歌とギター演奏、佐賀工業青年会のゆるきやら『はんしゃろん』くんのじゃんけん大会などで盛り上がりました。としみうらさんからは動物やキャラクターのバルーンアートを作ってプレゼントしていただきました。感染症などで参加できない子どもたちには、医師たちがサンタクロースに扮装しプレゼントを贈り、記念撮影をしました。親子や子ども同士で触れ合い楽しむことが出来ました。



クリーンハンド キャンペーン in 好生館 ～清潔な手で患者さんの命を守る～



感染制御部
部長 福岡 麻美

病原微生物は手指を介して感染することが最も多いため、「手指衛生」は医療関連感染を防止する最も基本的で重要な手段です。当館では職員および患者・家族の手指衛生遵守率向上を目的に、2011年より毎年手洗いキャンペーンを開催しています。本年度も10月16日(月)～20日(金)の5日間、第7回目のキャンペーンを開催し、多くの方に参加していただきました。

手指衛生は一定期間だけ実施すればいいものではなく、継続して日常的に実践しなければ意味がありません。手指衛生を習慣化し当館の文化として定着するよう、今後も根気よく取り組みを続けていきたいと思っております。



小児科

新生児疾患から
時間外小児診療まで
幅広く対応
しています

小児科
主任部長

西村 真二



11月現在、8人体制で診療を行っています。NICUの交替制勤務を実践しながら、感染症を中心とする入院診療、一般小児外来、健診・予防接種を日常業務とし、専門外来もさまざまな分野で充実させてきました。また、時間外の小児診療にも休日夜間こども診療所とともに積極的に携わっています。好生館の小児科医は『新生児疾患から時間外診療まで幅広く対応できる』を実践しています。教育面では、平成30年度からは小児科専門研修の基幹型プログラムが承認され、今まで以上に初期臨床研修医のみでなく、小児科専攻医にも選択してもらえるような診療・教育体制づくりに努めたいと思います。

小児外科

小児外科と漢方

小児外科
部長

村守 克己



小児外科は16歳未満の胸腹部手術を担当する科で、患児の最良のQOLを第一に考えて手術をしています。早く安全な手術を受けられるように、また術後は合併症無く過ごせるように注意を払っています。場合によっては手術自体が回避できないかとも考えています。その際に登場するのが漢方治療です。例えば、開腹手術後の癒着性イレウスの治療・予防には漢方薬が有効とされ、約20年前から小児外科でも取り入れられ効果を上げています。1967年に医療用漢方製剤がはじめて薬価基準に収載されて以来、現在では数々の漢方処方が製剤として使用できるようになりました。当科では、手術が必要な慢性化膿性疾患に対する術前治療、便秘や嘔吐を代表とする様々な消化器症状に対する治療、小児の自然治癒力を利用した先天性瘻孔に対する治療等に漢方薬を用いています。

耳鼻
いんこう科

『好生館でよかった』
と思われる
耳鼻科診療を

耳鼻いんこう科
部長

宮崎 純二



現在、専門医2名、医員2名の計4名の体制で、主に手術や入院を要する症例を対象とし、佐賀県の急性期医療を担っております。中耳炎手術、内視鏡下鼻副鼻腔手術、扁桃手術の三大手術をはじめ、良性疾患を中心として耳鼻科一般幅広い症例に対応しています。特に手術に際しては、ハイビジョン内視鏡セットは勿論、最新型の鼻科用デブリッター・耳科用ドリル、神経モニター装置、手術用ナビゲーションシステム等を導入し、安心・安全で高度な医療を提供できる体制を整えております。

しかしながら、医療体制も重要ですが、患者さんの心に寄り添った対応も同様に大切なことであると考えます。病院を出るときに「ここにきてよかった!」と思われる価値ある診療を実践すべく、熱く優しく日々の診療に臨んでおります。

麻酔科

手術の前に内服薬の
チェックを

麻酔科
部長

島川 勇介



「持病があっても保険に入れます」と宣伝される時代です。それと同じく「持病があっても手術が受けられます」ただし、持病も複雑化し服用されている薬も多様化しています。麻酔の方法が変更になることもあり、事前に注意が必要です。

脳梗塞や心筋梗塞の予防の血栓予防薬の他に血圧の薬、経口避妊薬、月経困難の治療薬も注意を要します。薬によって中止期間が異なります。中止することによる弊害がある場合には、継続したまま手術を行います。

手術が決まったら、服用している薬を医療機関へお知らせください。



好生館 部署対抗 ボウリング大会を開催しました

好生館恒例の部署対抗ボウリング大会を11月17日（金）にボウルアーガスで開催しました。毎年、好生館親睦会として多職種の参加で盛り上がり、今年度も委託業者を含め総勢312名の参加となりました。館長、副館長、事務部長、看護部長の始球式でゲーム開始、各チーム一投ごとにストライクやスペアに歓声があがり、楽しそうにハイタッチする姿が見られました。

団体優勝・応援賞は8階東病棟でした。応援賞は、トナカイ姿で奮闘された岩永医師の活躍が決め手だったかもしれません。個人優勝は、手術部の山田珠里さんでした。表彰式では、みんな中川原理事長との2ショット写真に喜ばれていました。職員の交流と心身のリフレッシュの場となった大会でした。



患者さんの気持ちに寄り添う 精神科リエゾンチーム

リエゾン精神看護師
花房 喜代治

7月1日付で好生館初のリエゾン精神看護師として採用になりました。“リエゾン”という言葉は精神看護の分野で“橋渡しをする・連携する・つなげる”という意味があります。リエゾン精神看護師は精神科と一般診療科をつなぎ、連携すること、患者と医療者の橋渡し、医療者同士のコミュニケーションを推進する役割があります。

コンサルテーションの依頼のあった患者さんに対して、毎日ラウンドを行い、不眠・抑うつ・せん妄などの症状の観察・評価を行っています。これからは患者さんの気持ちに寄り添い、安心して治療が受けられるようにサポートしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。





栄養の豆知識

この寒さを利用しておいしく

栄養管理部
栄養管理長

小根森 智子



1月は1年でもっとも寒い時期です。この寒気を利用して酒やみそなどの食べ物を仕込みます。高野豆腐もその一つです。

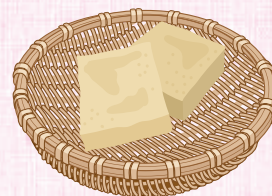
このあたりでは“高野豆腐”と言いますが、正式な食品名は“凍り豆腐”“こうや豆腐”だそうで、地域によって“ちはや豆腐”“凍み豆腐”とも呼ばれます。豆腐を凍らせて熟成させ、その後脱水して火力乾燥したのですが、その誕生には有力な説が二つあります。

一つは鎌倉時代の高野山で精進料理のための豆腐が寒さで凍ってしまい、それをとくして食べると食感がおもしろくおいしかったので、精進料理に

欠かせなくなったのが始まりという説。“高野豆腐”の名前の由来でもあります。

もう一つは、東北地方で冬場の食材として作られていた凍らせた豆腐“一夜凍り”を、わらで編んで極寒の軒先につるしておくうちに自然に乾燥することがわかり、これを保存食・兵糧食として利用したという説です。まさに“凍り豆腐”ですね。

あの軟らかい豆腐が元とは思えない独特の食感ですが、栄養面では“畑の肉”と呼ばれる豆腐と同じく、たんぱく質はもちろんカルシウムや鉄も豊富で、日持ちしない豆腐と違って備蓄食としても有用です。豆腐の代わりに、また、定番の煮物の他にも焼いたり揚げたり、日本の伝統食を楽しみましょう。



知っていますか？

検査の話

体内の老廃物を体外に排泄することが尿生成の大きな目的です。成分や量が病気により変化するため、これらの性質を調べることで各種疾患の診断、予後の推定、治療法の判定にも重要な指標となる検査です。尿検査は 1) 尿定性、2) 尿沈渣に分けられます。

1) 尿定性

尿中に過剰なタンパク質や糖などが出てきていないか。尿道や尿管などに出血や炎症・感染が起きていないかを調べることができます。

2) 尿沈渣

尿には腎臓の状態を反映する成分や尿管、膀胱の

尿検査とは？

検査部 一般検査部門
技師
江口 あすか



細胞など様々な成分が含まれており、これらの成分を尿沈渣といいます。沈渣の性状や量を顕微鏡で観察することで腎臓や膀胱の状態を調べます。腎・尿路系に病変があるかどうかのスクリーニングと、すでに確認された腎・尿路系の病変に対する治療効果や薬剤の副作用の判定についての情報収集などに利用されています。

定性も沈渣も採尿後放置すると成分に変化が生じるので、正しい検査結果を得るためにも採尿後は速やかに検査室へ検体を提出してもらうことが大切です。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



感染制御部だより

ノロウイルス感染対策

感染制御部
感染管理認定看護師 三好 恵美子



ノロウイルスの流行シーズンがやってきました。ノロウイルスなどのウイルス性感染性胃腸炎は、多くは患者さんが使用したトイレなどの環境に間接的に触れた手を介して伝播します。また、患者さんの嘔吐物による空気中に舞い上がったウイルスを吸い込むことで感染する場合もあると考えられています。

感染を防ぐために、嘔吐物や便などで汚染された物に触れる場合は、手袋やマスクを着け、汚染されたところは次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。また、ノロウイルスはアルコールでは消毒効果がないため、必ず流水と石鹸で手洗いを行いましょう。

■厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご参照ください。

+ 医療安全管理部だより

カリウム製剤投与間違い撲滅キャンペーン ～医療界一丸となって投与間違いゼロを目指す～

医療安全管理部
医療安全管理者(GRM) 川内 ひとみ



カリウム製剤投与間違いにより死亡事故が発生し、2004年に日本医療機能評価機構より高濃度カリウム製剤を病棟に置くことを廃止するよう提言がされました。製薬会社はワンショット静注が行えないよう形態の変更をしましたが、同事例の発生はゼロになっていません。(医療事故情報収集事業第40回報告書 平成26年10月～12月に事例内容有)

カリウム製剤をワンショット静注すると急速に血清カリウム値が上昇し、不整脈や最悪の場合は心停止を引き起こします。患者の命を守り、医療者自身を守るには、正しい知識を持って医療業務を行う事が重要です。

医療支援部だより

乳房専用撮影装置が 新しくなりました

放射線部
主任技師 草場 啓子



平成29年3月にトモシンセシス(断層撮影)機能を搭載した最新のマンモグラフィ装置を導入しました。トモシンセシスは、動画様の表示が可能な3次元(3D)撮影法で、組織の重なりをなくし、より精度の高い画像を提供することができます。

また、今回の装置更新に伴い撮影室内は、壁や装置にデコレーションを施し、より優しく快適な空間にしました。

検査(撮影)は、女性の診療放射線技師5名のみの対応しています。これからの患者さんに安心して検査を受けていただけるよう心がけていきたいと思っています。



マンモグラフィ年間撮影件数	
2015年	928件
2016年	1,040件
2017年	1,038件

「薬剤部DIニュース」を 発刊!

薬剤部
部長 松永 尚



平成29年8月より月刊「薬剤部DIニュース」を発刊しました。内容は、「今月の新規採用薬のお知らせ」「院内採用薬剤除のお知らせ」「副作用、注意事項など」について簡潔に記載しています。

現在、好生館で正式採用医薬品は1,049品目です。医薬品の採用に当たっては、毎月開催される薬事委員会で審議され、承認された医薬品が採用されます。また、1品目採用された場合、1品目が削除されます。免疫チェックポイント阻害剤、分子標的治療薬など優れた効果を示す高額な薬剤が次々と開発されています。これらの薬剤の適正使用を推進するためにも「薬剤部DIニュース」が役立ててもらえればと思います。



開放型病床登録医のご紹介

山口クリニック

〒849-0937
佐賀市鍋島4丁目1-8
TEL 0952-33-2626

院長
山口 茂



佐賀大学病院の目の前で開業してから27年が過ぎました。開業前は好生館に勤務していましたが、以前はよく患者さんの御高診をお願いしていましたが、現在は佐賀大学の方が多くなっています。それでも最近、心房細動に対してカテーテルアブレーションを3例行っていただきまして、経過良好です。

昨年9月に、私の隣で息子が在宅療養支援診療所を始めたので、そちらでもお世話になると思います。

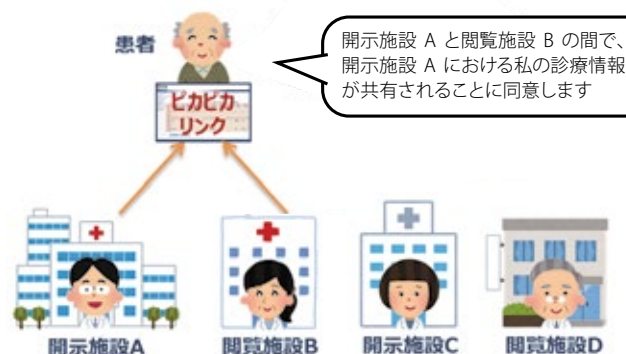
今後とも、よろしくお願いいたします。

佐賀県診療情報地域連携システム「ピカピカリンク」のご紹介

□ピカピカリンクとは

ピカピカリンクは、患者さん個別の同意の下、参加施設間で患者さんの診療情報を共有できる仕組みです。

参加施設は、専用の機器を設置して自院の診療情報を公開する「開示施設」（好生館など13施設）と、公開された診療情報を閲覧する「閲覧施設」に区分されます。



H29年10月末現在、参加施設304施設、登録患者28,250人となり、多くの病院、診療所、薬局等をカバーする地域連携ネットワークに成長しています。



□ピカピカリンクの利用メリット

好生館に患者さんを紹介いただく際にピカピカリンク登録を行えば、検査結果や診断名、治療方針などの詳細な診療情報を、患者さんが返書を持参する前にリアルタイムに閲覧いただけます。

また、患者さんが入院となった場合は、日々の経過をつぶさに把握していただけますし、好生館から逆紹介する際には、そうして把握していただいた診療情報をそのまま引き継ぎ、シームレスに継続加療に活用いただけますので、患者さんの安心にもつながります。

□サポート窓口

ピカピカリンクについての“?”は何でも
右記にお問い合わせください。

ピカピカリンク
ヘルプデスク

TEL 0952-97-8286 (受付時間 平日 9～17 時)
FAX 0952-26-2227
E-mail sagacso-support@min-nano.org



地域医療連携センターだより 地域完結型医療の推進のために

11月より、当館を受診される患者さんに対しては紹介状を持参いただくように案内をしています。まずは地域のかかりつけの先生に受診していただき、高度医療や専門の治療などが必要な場合には当館にご紹介いただくという地域完結型医療を更に推進していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

地域医療連携センター

副センター長 園田 美佐枝



また、初診の患者さんのご紹介の際には、診療の時間指定予約を行っています。患者さんの待ち時間が少しでも短縮できるようご活用ください。ご意見やご要望などがあればいつでも地域医療連携センターまでご連絡ください。

連絡先 地域医療連携センター (TEL:0952-28-1495)

一般・がん相談支援センターだより

セカンドオピニオン 外来受診のご案内

一般相談支援センター

副センター長 河内 志津子



セカンドオピニオン外来では、好生館以外におかかりの患者さんを対象に、診断内容や治療法に関して好生館の専門医の意見・判断を提供します。その意見や判断を、患者さんご自身の治療の際に参考にしていただくことを目的とし、転医・転院目的ではない

ことをご理解ください。なお、最初から転医・転院を希望される場合は、従来の紹介受診の手続きをしていただきます。受診は完全予約制、お申し込み後に各専門科の担当医師と調整し、受診日の連絡をさせていただきます。当日は必ず患者さんご自身の受診をお願いいたします。また、好生館から他の医療機関への受診も支援しています。

セカンドオピニオン外来受診の料金は自費診療となり、好生館受診時には、10,800円/60分(30分超過毎に5,400円追加)です。外部医療機関の受診では医療機関毎に料金が異なります。

連絡先 一般相談支援センター (TEL:0952-28-1158)

「がんと向き合う ～闘病記を手にしてみよう～」 シンポジウム開催!!

がん相談支援センター

認定がん専門相談員・係長・MSW

大石 美穂



10月31日(火)、当館で県民対象のシンポジウムを、県内の各拠点病院のがん相談支援センターと佐賀県の共催で開催しました。患者さんやがん相談支援センター相談員等5人のシンポジストが、がんと向き合うそれぞれの立場から心に残る1冊を語られました。患者さんは、がんの闘病で、家族や医療スタッフの支えへの感謝や、がんを受け入れ共存していくなか、本によって心が助かる場所もあったと語られました。ダイアログカフェでは、グループでしおりを作りながら語り合いました。がんと向き合うとき、こうした心の支えと信頼でき

る確かな情報をつかむことが大切だということを共有できたシンポジウムでした。国立がん研究センターがん対策情報センターの新たな取り組み、全国の図書館に信頼できるがん情報を届ける『がん情報ギフト』の寄付プロジェクトの紹介が出来たことも、大変有意義なことでした。

『がん情報ギフトHP』

https://www.ncc.go.jp/jp/d004/donation/ganjoho_gift/index.html



連絡先 がん相談支援センター
(TEL:0952-28-1210 FAX:0952-28-1250)



11月1日付



新任医師の紹介
2017年
11月

麻酔科
医師
高瀬 浩二郎



1月1日付



新任医師の紹介
2018年
1月

麻酔科
医員
古賀 冬馬

1月1日付



麻酔科
医員
永石 雄基

「県民公開講座」を開催しました

地域医療連携センター
副センター長 園田 美佐枝



10月28日(土)に県民公開講座を開催しました。「心臓病から命を守る～予防と最新の治療法」と題して、当館の循環器内科、心臓血管外科の先生方及び管理栄養士が講演をいたしました。当日は雨になり足元の悪い中、176名の方にご参加いただきました。年齢構成は20代から90代と幅広く、県外から参加された方もおられ、中には、メモをとりながら聴講されている方も見受けられました。講演終了後には「1, 2, 3」とみんなでかけ声をかけながら簡単体操を行いました。

展示コーナーでは、講演で話された治療器材を実際に見て、触れることもでき、たくさんの方がテーブルを囲んで、質問などもされました。相談コーナーも盛況でした。体脂肪測定や頸動脈エコーの体験もしていただき、いろいろ学べて充実した講座になりました。



講演会



相談コーナー

連絡先 地域医療連携センター (TEL:0952-28-1495)

参加者もスタッフも 活気溢れる場となった 「がん県民公開講座」

がん相談支援センター
認定がん専門相談員・係長・MSW
大石 美穂



12月9日(土)、「がんと共に生きる」をテーマに講座を開催しました。県民の皆様の参加は128名、各ブースでの相談等対応は107件となりました。第一部では呼吸器内科 岩永部長より、免疫チェックポイント阻害薬治療の好生館の新しい試みを、肝胆膵内科 河口部長は、膵がん・胆道がん教室の定期開催を、また、日浦緩和ケア認定看護師は、今年度より開設している「がん看護外来」の活用方法を話しました。会場の参加者に正しい情報を掴んだうえで治療することの大切さが伝わったようです。第二部は、中川原理事長より「がんを

生きる社会を目指して」と題した講演で、当館の歴史、自身の人生の歩み、今後向かうがん診療の方向に触れた幅広い内容で、参加者から「もっと聞きたい!」との声も頂きました。

今回は、患者さんから自分も少しでも手伝えたいとの声を頂き、患者会や支援機関の皆様と共にスタッフとして活動していただきました。今後も、患者さんや地域の声を大事に想い、ご協力賜りながら皆で考え、活動を続けて参ります。



スタッフの集合写真

連絡先 がん相談支援センター
(TEL:0952-28-1210 FAX:0952-28-1250)



歴史
コーナー

「好生館180年記念誌」を 発行しました

副館長
林田 潔



当館の歴史は第10代佐賀藩主・鍋島直正公が天保5年に設立した「医学寮(好生館)」に遡ります。平成26年に180周年を迎えるにあたり、180年記念誌編纂を計画しました。専門家の方々による好生館の歴史の再検証を通じ、好生館扁額がこの医学寮に当初より掲げられていた史実など新しい検証がなされ、この度、約2年半をかけて、後世に残る好生館の記録として「180年記念誌」を発行いたしました。

佐賀医学史研究会の青木先生をはじめとする多くの専門家による新しい歴史資料の検証を基に、

これまで曖昧だった史実なども明らかになり、設立当時の時代背景や佐賀藩・好生館を通じて日本の近代医学に大きな影響を与えていたことも再確認できました。

記念誌には、専門家の方々の検証、また多くの好生館ゆかりの方々の寄稿文だけではなく、現在の好生館の紹介も記録として記載しています。多くの皆様に読んでいただき、好生館と佐賀の誇りある歴史を深く知っていただきたいと思います。

また、編纂中は、多くの方々にご協力をいただきましたこと、深く御礼申し上げます。



好生館180年記念誌 表紙

第2回 鍋島直正公記念 好生館シンポジウムを開催しました

理事室 係長
堤 由起子



好生館創立記念日を迎えるに当たり、創設者である佐賀藩10代藩主鍋島直正公の精神を広く皆様に知っていただくとともに、地域医療の中心的役割を担う病院として、最新の医療提供と教育研究の更なる発展を願い、12月2日(土)にホテルニューオータニ佐賀で開催いたしました。



第1部では「幕末維新と佐賀藩」と題して、映画『武士の家計簿』、『殿、利息でござる!』の原作者としてもおなじみの国際日本文化研究センター准教授 磯田道史先生にご講演いただき、第2部では磯田先生、佐賀新聞社社長中尾清一郎氏、鍋島報効会徴古館主任学芸員富田紘次氏、当館中川原理事長によるパネルディスカッションを行い、佐賀藩が果たした役割、好生館の歴史を振り返り、これからどう活かすのかを議論していただきました。

当日は約250人の皆様にご参加いただき、大変充実したシンポジウムとなりました。



外 来 医 師 一 覧 表

(平成30年1月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。電話：0952-24-2171（おかけ間違いのないようお気をつけ下さい。）
診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。（受付時間は8時30分～11時です。）土・日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休診です。
なお、当館では、原則として予約がなく前回の受診から6ヵ月以上過ぎている場合は、初診扱いとなります。

区 分			月		火		水		木		金			
内 科	総 合 内 科		新 患	池田 園子		松石 英城		池田 園子		松石 英城		池田 園子		
			再 来	松石 英城		池田 園子		松石 英城		一		松石 英城		
	呼吸器内科		新 患	担 当 医		担 当 医		休 診		担 当 医		担 当 医		
			再 来	久保田 未央		加藤 剛		岩永 健太郎/小宮 奈津子		加藤 剛		岩永 健太郎		
	肝 胆 脾 内 科		河口 康典/中下 俊哉		古賀 風太		中下 俊哉/大座 紀子		河口 康典/大座 紀子		河口 康典/古賀 風太			
	消化器内科		新患(午前)	行元 崇浩		富永 直之		川村 紗奈江		白井 慎平		白井 慎平		
			新患(午後)	行元 崇浩		富永 直之/川村 紗奈江		川村 紗奈江		白井 慎平		富永 直之/川村 紗奈江		
			再 来	富永 直之		緒方 伸一		富永 直之		緒方 伸一		行元 崇浩		
			ピロリ外来(完全予約制)	一		一		一		富永 直之(午前)		一		
	血液内科		新 患	近藤 誠司		佐野 遥菜		久富 崇		近藤 誠司		*久富 崇(第1・3・5金曜)/ *佐野 遥菜(第2・4金曜)		
			再 来	佐野 遥菜		榎藤 久司/久富 崇		近藤 誠司		久富 崇/研修後方/ピロリ外来(午後)		榎藤 久司		
	腎 臓 内 科		力武 修一		中村 恵		一		力武 修一		中村 恵			
	糖尿病代謝内科		吉村 達		吉村 達		江頭 絵里奈		吉村 達		一			
	腫瘍内科 (予約・紹介)		新 患/コンサルト	大塚 大河		嬉野 紀夫		嬉野 紀夫		嬉野 紀夫		大塚 大河		
			再 来	嬉野 紀夫/大塚 大河		嬉野 紀夫/大塚 大河		嬉野 紀夫/大塚 大河		嬉野 紀夫/大塚 大河		嬉野 紀夫/大塚 大河		
	感染症(予約・紹介)		福岡 麻美		福岡 麻美		福岡 麻美		福岡 麻美		福岡 麻美			
	膠原病・リウマチ (14:00～16:00)		(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)										多田 芳史 小野 伸之	
	消化管内視鏡 (責任者)		緒方 伸一		河口 康典		緒方 伸一		富永 直之		緒方 伸一			
	気 管 支 鏡		加藤 剛		一		小宮 奈津子		久保田 未央		一			
	腹 部 エ コ ー		大座 紀子 古賀 風太		*中下 俊哉/ *大座 紀子 (*隔週で交代)		河口 康典 古賀 風太		中下 俊哉		中下 俊哉 大座 紀子			
	透 析		中村 恵		力武 修一		中村 恵/力武 修一		中村 恵		力武 修一			
小 児 科	午 前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)		担 当 医		担 当 医		担 当 医		担 当 医		担 当 医			
	午 後 (完全予約制)		一		神経外来(当館医師) 内分泌外来		循環器 外 来		一		血液 外 来			
	アレルギー外来(第1・第3) 乳 児 健 診 予 防 接 種		神経外来(当館医師) 神経外来(医大医師 第2・4) 内分泌外来/予防接種		循環器 外 来 予 防 接 種		1 ヶ月健診		アレルギー外来 心身症 外 来 血液 外 来					
循 環 器 内 科	午 前		江島 健一 中城 総一		吉田 敬規 中村 郁子		吉田 敬規 柿野 貴盛		江島 健一 中城 総一		林田 潔 中村 郁子/三上 剛			
	不整脈外来	(午前)	担 当 医		一		不整脈外来新患		一		担 当 医			
		(午後)新患のみ完全予約制	一		一		担 当 医		一		一			
	ペースメーカー外来(午前・予約制)		一		一		担 当 医		一		一			
	午 後		検 査		心カテ		心カテ(午前・午後)		心カテ		検 査			
精 神 科	午 前(完全予約制) 再診 月～金 8:30～12:00 初診 月～金 12:00～13:00		福田 貴博 石井 博修		福田 貴博 非常勤医師		福田 貴博 石井 博修		福田 貴博 石井 博修		福田 貴博 石井 博修			
	午 後		各病棟(精神科コンサルテーション・リエゾン)											
放射線科	放 射 線 診 断 ・ I V R		相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他		相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他		相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他		相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他		相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 岡本 大佑他			
	放 射 線 治 療		渡辺 哲雄		渡辺 哲雄		渡辺 哲雄		渡辺 哲雄		渡辺 哲雄			
脳 神 経 内 科	午 前	新患/再来	高島 洋		高島 洋		美奈川 拡		美奈川 拡		高島 洋			
	午 後	(14:00～16:00) パーキンソン病外来(予約制)	検査・処置 一		回 診 一		予約制 もの忘れ外来 高島 洋 一		回 診 高島 洋		検 査・処 置 一			
脳血管内科	午 前		上床 武史		杉森 宏		鴨川 徳彦		上床 武史/鴨川 徳彦		杉森 宏			
緩和 ケア科	午前(再診) 午後(新患)	完全予約制	一		小杉 寿文/鶴池 直邦 久保 麻悠子		一		小杉 寿文/鶴池 直邦 久保 麻悠子		一			
禁煙外来	午 後		完全予約制		久保田 未央/小宮奈津子(14:30～16:30)		林田 潔(13:30～15:30)		寺崎 泰宏(14:30～16:30)		一			
外 科	消化器外科	新 患	田中 聡也		平木 将紹		久保 洋		池田 野		北原 賢二/田中 聡也			
		再 来	田中 聡也		平木 将紹/山田 浩平		池田 野/平木 将紹(9:00～10:00のみ)		池田 野		田中 聡也/佐藤 清治			
	肝胆脾外科	新 患	三好 篤		北原 賢二		三好 篤		久保 洋		北原 賢二			
		再 来	一		手 術		白羽根 健吾/服部 正見		手 術		白羽根 健吾/服部 正見			
	呼吸器外科	新 患	手 術		寺崎 泰宏		手 術		寺崎 泰宏		手 術			
		再 来	一		寺崎 泰宏/宮本 詩子/岡本 祐介		手 術		寺崎 泰宏/宮本 祐介/宮本 詩子		手 術			
小 児 外 科	新 患	村守 克己		手 術		井上 貴之		福田 篤久 村守 克己		手 術				
	再 来	福田 篤久		一		一		一		一				
眼 科	午 前	手 術	手 術	大野 新一郎/福永 由起子 坂井 厚耶/中野 加央里		手 術	手 術	大野 新一郎/福永 由起子 坂井 厚耶/中野 加央里		手 術	大野 新一郎/福永 由起子 坂井 厚耶/中野 加央里			
	午 後	検 査	手 術	検 査		手 術	手 術	検 査		手 術	検 査			
産婦人科	午 前	婦人科	金井 督之/八並 直子		安永 牧生/川崎 いずみ/大隈 良一		手 術 日 (急患のみ担当者)		安永 牧生/内野 美穂 川崎 いずみ/大隈 良一/金井 督之		手 術 日 (急患のみ担当者)			
		産科	内野 美穂/室 雅巳		室 雅巳/内野 美穂									
	午 後	婦人科(紹介・予約)	安永 牧生		金井 督之				八並 直子					
		産科(紹介)	室 雅巳		室 雅巳		室 雅巳							
(14:00～16:00)		午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。												
耳 鼻 いんこう科	午 前		手 術		宮崎 純二/大橋 充 宮崎 俊一/樋口 良太		手 術		宮崎 純二/大橋 充 宮崎 俊一/樋口 良太		宮崎 純二/大橋 充 宮崎 俊一/樋口 良太			
	午 後		一		回 診・検 査		一		回 診・検 査		回 診・検 査			
泌尿器科	午 前		徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/山下 拓也		徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/高松 太		手 術		徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/山下 拓也		手 術			
	専 門 外 来		腎移植		腎移植		一		腎移植		一			
歯科口腔 外 科	午前・午後	完全予約制	野口 信宏 佐野 直人		野口 信宏 佐野 直人		野口 信宏 佐野 直人		野口 信宏 佐野 直人		野口 信宏 佐野 直人			
形成外科	午 前		増本 和之		手 術		回 診		手 術		藤井 達哉			
皮 膚 科	午 後		外 来 手 術		一		フットケア外来		一		外 来 手 術			
	一		一		一		一		一		一			
整形外科	一 般 整 形		前 隆男/塚本 伸章 屋良 卓郎/矢野 良平		手 術		前 隆男/小宮 紀宏 矢野 良平/当 番 医		手 術		塚本 伸章/小宮 紀宏 屋良 卓郎			
	脊 椎		加藤 剛		一		加藤 剛		一		加藤 剛			
脳 神 経 外 科	午 前		松本 健一		坂田 修治		坂田 修治		手 術		溝上 泰一朗			
	午後 専門外来	予約のみ	(水頭症外来)坂田 修治		一		(脳動脈瘤外来)松本 健一				(脳血管内治療外来)溝上 泰一朗			
心臓血管 外 科	午 前		手 術		内藤 光三 里 学		手 術		内藤 光三 里 学		手 術			
	午 後				回 診		回 診							
人 間 ドック	一 般		林田 潔		井之口 香映子		榎藤 久司		榎藤 久司		井之口 香映子			
	脳ドック		高島 洋		坂田 修治		杉森 宏		上床 武史		高島 洋			
心臓ドック		一		一		一		林田 潔		一				
看護専門外来	完 全 予 約 制		江口 忍		江口 忍		江口 忍		江口 忍		江口 忍			